

科目名	学習心理学Ⅱ	
担当者	木下 昌也 / KINOSHITA, Masanari	
科目情報	心理臨床<心理学> / 選択 / 前期/ 講義 / 2単位 / 3年次	
科目概要	授業内容	前半は応用行動分析について、後半は言語行動をテーマに取り上げ学習心理学の視点から講義する。いずれの話題にも子ども（障害児を含む）の学習過程の内容を含む。
	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 応用行動分析の基礎を理解すること</li> <li>・ 言語の生物学的心理学的基盤およびその学習、発達過程について理解すること</li> </ul>
授業計画	(1)オリエンテーション (2)行動分析学について (3)応用行動分析① (4)応用行動分析② (5)応用行動分析③ (6)応用行動分析④ (7)応用行動分析⑤ (8)応用行動分析⑥ (9)言語行動① (10)言語行動② (11)言語行動③ (12)言語行動④ (13)言語行動⑤ (14)言語行動⑥ (15)総まとめ	
自学自習	事前学習	・ 前回までの学習についてノート、プリント等で振り返っておくこと
	事後学習	・ 当回の学習についてノート、プリント等で振り返ること
使用教材・参考文献	【教】教科書は使用しない。授業中資料を配付する。 【参】P. A. アルバート&A. C. トルートマン『初めての応用行動分析』二瓶社 1992年 ISBN 4-931199-15-1 日本行動分析学会編『ことばと行動』ブレーン出版 2001年 ISBN 4-89242-675-X 佐藤方哉『行動理論への招待』大修館書店 1976年 ISBN4-469-21056-0	
成績評価方法と基準	期末テストにより上記目標に到達しているかどうかを判定する。	
備考	「学習心理学Ⅰ」の内容についてすでに習得済みであることを前提に講義をおこなう。	